

令和4年度定期総会開催す コロナ禍での諸活動の実施

本会の令和4年度定期総会をこのたび開催した。議長金濱興一氏の下に議事が進められ、令和3年度事業報告・収支決算と令和4年度事業計画・収支予算について、いずれも原案のとおり異議なく承認をみた。また、総会終了後、月例発表会を日中に初めて開催した。

令和3年度事業は、コロナ禍であり一部中止した活動もあったが、会員の協力や支援によりほぼ計画どおりに実施された。特にも関係団体との連携として、石川県穴水町で開催された全国樋爪会との交流会と樋爪氏菩提寺での法要や墓参には、本会より9名が参加し樋爪氏のルーツが北陸の地に及んでいたという認識を更に深められた。

なお、会員現地研修の一環として、平泉世界遺産ガイダンスセンター開館記念企画展の視察見学を町内文化財団体と合同催行することとし、本会は10数名の参加申込あったが、コロナ感染防止の観点から余儀なく実施数日前に中止とした。令和4年度もコロナの収束がみえず活動が制約される中で、会員や関係機関の協力により従前から行ってきた事業は、基本的に実施するものの場合によっては見直しや中止もありうる。

令和3年度活動記録の振り返り写真一部



遺跡案内人活動：6月(陣ヶ岡)
赤石小学校6年生の社会科見学



定期講演会：6月
羽柴直人氏の講演



樋爪氏一族の追善法要参列：11月
石川県穴水町の樋爪氏菩提寺にて

史跡五郎沼愛護会 五郎沼古代ハス池の手入れ

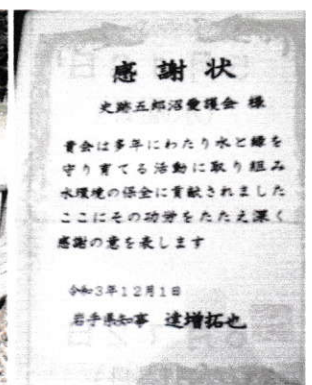
地域で組織されている史跡五郎沼愛護会は、このほど古代ハス池の手入れを行った。平成14年に平泉中尊寺から全国第1号で株分けされ、ゆかりの地に里帰りしてから早や20年、愛護会では、このハス池の手入れの他に五郎沼堤体の草刈や桜樹木の管理、水辺の環境保全を切れ目なく、地域資源は地域で守るという意識の下に代が替わろうとも進められてきた。

当日は、愛護会の人たち約30人が出役され、ハス池の中に入り昨年の古い茎や雑草を除去、土中への施肥を行い、7月上旬の開花に向けた手入れ作業をした。

なお、愛護会は昨年12月、多年にわたり水と緑の活動に取り組み水環境の保全に貢献されたということで、岩手県知事から感謝状を授与された。



史跡五郎沼愛護会によるハス池の手入れ



県知事よりの感謝状

4月17日に開催した第129回月例発表会において、発表者が用いました資料の一部分をところどころ抜粋して掲載しましたので了承願います。

平井和夫氏の発表資料「吾妻鏡にみる北条義時」から

主要参考図書 現代語訳吾妻鏡 五味文彦；編 吉川弘文館

長寛元年(1163) 北条義時、誕生。北条時政の次男。

治承四年(1180) 四月九日『吾妻鏡』の始まり 北条義時 18歳

八月二十三日 石橋山の戦い

夜になって降り注ぐように激しく雨が降った。今日の寅の刻に武衛(源頼朝)が北条殿(時政)父子、安達藤九郎盛長、工藤庄司茂光、土肥次郎実平以下の三百騎を率いて相模国石橋山に陣を構えられた。この間、かの令旨を御旗の横上にお付けになられ、中四郎(中原)惟茂がそれを持っていた。・・・(略)・・・

この頃、相模国の住人である大庭三郎景親、俣野五郎景久、河村三郎義秀、・・・をはじめ平家被官の者三千余騎が同じく石橋山の辺りに陣を構えていた。

両陣の間は一つの谷で隔てられていた。・・・(略)・・・

十二月十二日 鎌倉の主

晴れて風は静かであった。亥の刻に武衛(源頼朝)が新造の御邸へ移られる儀式があった大庭景義を担当として去る十月に工事始めがあり、大倉郷に造られたのである。定刻に上総権介広常の宅を出発されて、新邸にお入りになった。水干を着て、馬にお乗りになった。和田小太郎義盛が最前をいき、加々美次郎長清が馬の左につき、毛呂冠者秀光が同じく右についた。北条殿(時政)、同(北条)四郎主(義時)、足利冠者義兼、山名冠者義範、千葉介常胤、同(千葉)太郎胤正、同(東)六郎大夫胤頼、(安達)藤九郎盛長、土肥次郎実平、岡崎四郎義家、工藤庄司景光、宇佐美三郎助茂、土屋三郎宗遠、佐々木太郎定綱、同(佐々木)三郎盛綱以下が付き添った。畠山次郎重忠が最末に従った。

寝殿にお入りになってから、御供の者たちは待所[十八間]に参上し、二列に向かい合って座った。義盛はその中央にいて、そろった者たちを記録したという。また御家人たちも同じく居館を構えた。これより以降、東国の人々は皆頼朝の徳ある道を進むのを目にして、鎌倉の主として推戴することになった。鎌倉は元々辺鄙(へんぴ)なので、漁師や農民以外、居を定めようという者は少なかった。そのため今この時にあたって、巷(ちまた)の道をまっすぐにし、村里に名前をつけた。それだけでなく家屋が立ち並び、門扉が軒をめぐらすようになったという。

《《《5 ～ 6月 行事予定のお知らせ》》》

<p>5月18日 (水曜日)</p>	<p>第130回 月例発表会</p>	<p>時間 午後7時から午後9時 会場 赤石公民館 講義室 発表者：金 濱 興 一 テーマ：「志波城の外郭2」 発表者：工 藤 睦 夫 テーマ：「赤沢の七仏薬師について」</p>
<p>6月12日 (日曜日)</p>	<p>第27回 定期講演会</p>	<p>時間 午後1時30分から午後3時30分 会場 赤石公民館 講堂 講師 八重樫 忠 郎 氏 (前平泉町 まちづくり推進課長) 演題 次号に掲載 会費 会員200円(会員外500円)</p>